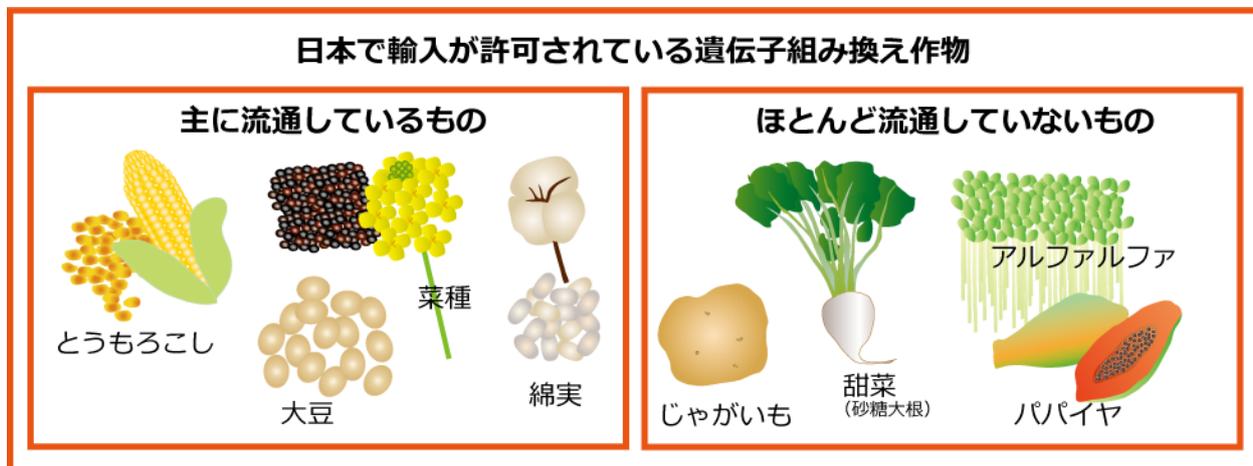


遺伝子組み換え大豆とは？！

最近豆乳を飲む機会が増え、成分などを確認しようと箱を見ると「遺伝子組み換えでない大豆」を使用と書いてあります。遺伝子を組み替えた大豆って何？どこがどう違う？という訳で少し調べてみました。

そうしたら、遺伝子を組み替えた作物は大豆だけではありませんでした。



ヨーロッパでは規制が厳しく、アメリカを中心に遺伝子組み換え作物が多く作られ流通しているようです。

例えば大豆：畑では収穫するまで何度も除草や虫の駆除をする必要があります。かと言って強い除草剤を使えば除草はできるものの大豆そのものも枯れる可能性があります。

そこで効き目の強いAという除草剤を使っても枯れないように遺伝子を組み替えた大豆を作ってしまう。そうして除草剤Aとそれに耐性を持つ大豆の種をセットで売買する。

簡単に言えば除草剤（農薬）を売るため？？？

確かに除草回数が減れば人出不足の農家は助かりますが、安全性は？

農薬会社は「安全を確認した」として売っているのですが、安全性を確認するテスト期間は90日ほどだそうです。そんな短期間のテストで食べ続けて大丈夫なの？ 疑問です。

そして自然界は強いのです！これらの農薬に負けない草や虫が出てきています。

まさに黴ごっこ → 更に強い農薬を作る

→ 農薬を作る企業の大儲け → 体の中には有害な化学物質が蓄積されていく

そして有機農法や固定種の栽培をしている農家には、遺伝子組み換えされた作物の花粉などが風による飛来や虫を媒介にして受粉されてしまい、遺伝子汚染になってしまう、という影響が起きてきます。

将来遺伝子組み換えされた作物しか作ることができなくなる……かも、ですね。

農場外の植物の生態系にも当然影響が出るのが予想されます。

遺伝子組み換えでない大豆製品しか買っていない、つもりでも、コーンスターチやオイル、お菓子などの加工食品にも様々な形で利用されています。

本当の意味での安全性の確認や、ヨーロッパのような厳しい表示規制が望まれます。

★) 過去の「今月の一言」などはKES関東のホームページのトピックスに掲載されています。社内の勉強会資料としてお使いください。